



SAP Ariba 

機能の概要

申請で下位レベルの商品分類コードを必須に

Jaideep Tungare、SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 申請で下位レベルの商品分類コードを必須に

今までの課題

現在、Guided Buying では見積依頼書 (RFQ)、明細フォーム、または注文書なし請求書で下位レベルの商品分類コードを入力することはできません。これらのドキュメントには、親タイルから継承された上位レベルの商品分類コードのみ含まれていたため、ユーザーは下位レベルの商品分類コードを入力できませんでした。

SAP Ariba で問題解決

この機能により、必要な方法で設定したタイルから明細フォーム、見積依頼書 (RFQ) または注文書なし請求書にユーザーが入力するときに、下位レベルの商品分類コードの選択を必須にすることができます。

主なメリット

詳細な商品分類コードを使用して、組織は Guided Buying ポリシーを通じてコントロールの強化、SAP Ariba Sourcing における効果的な管理、および的確なレポートを実現できます。

導入の難易度
対象エリア

ロータッチ/容易
グローバル

対象ソリューション

以下のソリューションに含まれる Guided Buying 機能:

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

このタイルから作成されたフォームで商品分類コードの詳細さをコントロールするには、JSON ファイルで allowSubcategory 属性を使用します。

新規の allowSubcategory 属性には初期値に false が設定されています。

前提条件と制限事項

なし

機能の概要

説明: 申請で下位レベルの商品分類コードを必須に

The image shows a user interface for a service application. The main form includes fields for Service name, Description, Start date, End date, Price (with a USD dropdown), FName, and Supplier. A 'Category' dropdown menu is open, showing options like 'Choose a category', 'Clear selection', and 'Browse all'. A modal window titled 'Category' is displayed, allowing users to search for and select from a list of categories: 'Cleaning and janitorial services - 7611', 'Decontamination services - 7610', 'Refuse disposal and treatment - 7612', and 'Toxic and hazardous waste cleanup - 7613'. A yellow callout box points to the 'Browse all' button and the modal, stating: '下位レベルの商品分類コードが必要な明細フォーム' (Detail form requiring lower-level product classification codes).